

---

# ノンカピスコ・懺悔の値打ちもない

天野 涙

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ノンカピスコ・懺悔の値打ちもない

### 【Nコード】

N0267E

### 【作者名】

天野 涙

### 【あらすじ】

大学の職員の祐子は、同じ職場の若い直哉と一夜をともにして、妊娠してしまうが???

朝10時、郵便局近くの喫茶店で待ち合わせ。  
郵便局に行くのを口実に、職場を抜けてきた。窓際の席に直哉が座  
ってる。

顔が強ばっている。

『お待たせ。』

私は前の席に座った。直哉は思い詰めた顔をしてる。この男はいつ  
もそうだ。

しかし私は知ってる、それがポーズだと言う事を。

『あの、話って何ですか？』

訝しげに聞いてきた。

『出来たらしいの。』

『ええ？まさか。』

直哉は驚き、コーヒーを落としそうになる。

あれは3月の下旬、上司が転勤になるというので  
職場で送別会をした夜の出来事。

彼の方から、私を誘ったのだ。

『僕は辛い、死にたい。』と私の上で、何度もこぼした。

しかし・・・死にたい人間が 女の上へのっかかるかね。  
私は少し冷めた頭で、そう思う。

でも少なからず彼に好意を抱いていた私は、  
若い彼の欲情を受け入れたのである。

そして・・・新しい命をもらってしまった。

『ねえ、産んでもいい？』

『それは・・・困ります。』

『私、欲しい。あなたの子供・・・。』

口が勝手に動く。彼を困らせるのが楽しい。ざまあみるとさえ思う。  
悪女を演じる女優のように・・・すらすらとせりふが口についてでる。

『私のこと、好きだっていつてくれたよね。あれは嘘だったの？』

直哉は、一瞬 たじろぐ

（そんなこと言いましたっけ？）と言う顔。正直、私も覚えてない  
が・・・。

『ごめんさい。申し訳ないです。』

ひたすら頭を下げる直哉に、奥底では失望しながらも、  
墮胎する費用の半分を負担させる約束をさせる。

また職場で、毎日のように顔を合わせる相手ともめたくない。

（さて・・・あと半分どうすつかね？）

そして、昼下がり 違う喫茶店にいた水谷と会う。

水谷は40代の営業社員。大学に出入りする業者である。

午前に引き続き、女優になって、私は水谷に話を切り出す。

『出来たらしいの・・・』  
『ええく???』

水谷は、読んでいたスポーツ紙から 思い切り背伸びして顔を出した。

半漁人のような目。こぼれそう・・・。

『ウツソ〜。』  
『本当。』

水谷はどうでるか、私はさぐる目をして頷いた。

『驚いた。俺にまだそんな余力あったとは・・・?』

予想に反して、水谷はまんざらでもない様子。

『産んでもいい?』  
『うん・・・ええよ。でも大丈夫?』

今度は私の方がたじろぐ。まさか、肯定するとは。何を考えるか、この男。

『うつん、ごめん。やっぱりあなたに迷惑はかけられない。』  
『そうか、残念やな。せつかくの命やのに・・・。』

人のいい水谷は、落胆したようにため息をついた。  
でもこの男も、ポーズかもしれない。肯定すれば、あきらめると踏んでるのかも。

直哉とは、デキが違う。こなれてる。大人の男の余裕か。

そして数日後、私は中絶手術を受けた。

（ごめん、ごめんね・・・）

わけもなく、涙があふれた。罪深いママを許してねと。

外に出ると、水谷が車で待っている。

『ごめんな、辛い思いさせて・・・』と肩を抱いてくれた。

この男のなま暖かい身体と心が、私はやはり好き・・・と思う。

堕胎の費用半分は、水谷が負担したのだ。父親の欄も水谷の名を書いた。

たぶん、種は直哉だと思うが・・・それも今となってはどうでもいいこと。

私は、中絶のリスクだけ背負った。

『ただいま。』帰宅する私

『お帰り。』

そこには、阪神が勝ってご満悦な夫がいた。

罪深いママを許してね・・・何食わぬ顔のそこでそう思う。



**（後書き）**

これは、ある意味、ノンフィクションです。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0267e/>

---

ノンカピスコ・懺悔の値打ちもない

2010年10月9日07時56分発行